リンゴ詰めを行う様子である。 蛇の列ができるほどのお客様が足 村りんご祭を支えるスタッフが、 月3日まで開催された、 初日は、平日にもかかわらず長 今月の表紙 11月18 J A 相 馬 日から12

せてくれる」と当JAのりんごに 生産者と買いに来た消費者が直接 人に贈りたいという気持ちにもさ 相馬のリンゴは忘れら リンゴを持ち込んだ

でもらう為にも愛を込めて生産者

今後も多くのお客様に足を運ん

と接し、高品質りんご生産を指導

ていきたい。

出来事について話していた。

大変だったことなど収穫までの

の品質や食味についてや霜が降っ 詁をする場面が何度かあり、 対する気持ちを話していた。

会場では、

たいと思う気持ちが湧き、大切な

度食べてからまた食べ

リンゴを食べてどの地域も美味し 万にお話を聞くと「色々な地域の

から来る人も多かった。

お客様は、

弘前市内はもとより

外の秋田など遠方

買ったリンゴは贈答用と家庭用で振り分ける



多くのお客様が長蛇の列を作って入場を待つ



お祝いに向けた「寿」リンゴも販売



品質の良いリンゴを見極める消費者

## JA相馬村広報

2021.12 Vol.473

■発行者

相馬村農業協同組合

〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1 TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497

総務課広報

ホームページURL http://www.ja-souma.or.jp/ e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■発行日

2021年12月15日

## JA 相馬村概況

〈令和3年11月末日現在〉

組合員数……… 865 人

(うち准組合員数 …………… 375人)

出 617,530 千円

貯 金 …………… 10,678,091 千円

共済保有高……3,202,994 万円